

平成21年度 広野中学校区小中一貫教育の推進

1 平成20年度の実施

ア 学校運営部会

- ・研究推進委員会の統括
- ・一貫教育の推進に係る連絡調整
- ・関係諸団体との連絡調整
- ・小中一貫教育校としての「教育目標」「育てたい力」「学校運営体制や指導体制」などの設定

イ 教育課程部会

- ・合同研修会の開催
- ・授業参観、教材交流などの実施
- ・学級、学年通信などの交流
- ・運動会、体育大会など、児童生徒、教職員の交流行事の実施
- ・学習や生活の年間指導目標の設定や指導計画の作成
- ・年間行事予定表や校時表の共通版の作成

ウ いしずえ部会

- ・標準学力検査の分析を生かした学力向上
- ・各種アンケート調査に基づく指導方法の工夫改善
- ・授業規律確立に向けた授業での約束事の共通化
- ・9年間を通した「家庭学習の手引き」の作成

エ 宇治学部会

- ・小中学校の系統性を高めた「総合的な学習の時間」のカリキュラムの作成
- ・「宇治学」としての年間15時間程度の指導計画の作成

オ 児童生徒理解部会

- ・学校生活アンケートに基づく教職員の共通理解及び不安解消に向けた取組
- ・不登校対応としての早期の把握や手立ての連携、協議
- ・特別支援教育での小中連携

カ その他

- ・小中学校の連携による小学校外国語活動の研究
- ・地域と連携した取組の推進（合同講演会や標語募集の取組）

2 平成21年度の実行

ア いしずえ学習の実行（学力の充実向上）

イ 宇治学の実行（総合的な学習の時間）

ウ 小学校外国語活動の実行

エ 小・中学校教員による出前授業の実行…

3 平成21年度の研究推進項目（案）

ア 9年間を見通した教科年間カリキュラムの作成

イ 発達段階に沿った学習システムの構築や生活の決まりプログラム作成

ウ 小中合同行事の開催

エ 地域とつながった取り組み

オ 児童生徒同士のいろいろな交流

カ 特別に支援が必要な児童や不登校傾向児童の情報交流

キ 総合的な学習の時間の年間指導カリキュラムの作成

ク 行事におけるITを活用したテレビ会議システムの構築と実施

ケ シンボルマークの策定、一貫教育校（学園）の名称募集（公募）、校歌（学園歌）の策定

コ 小中いっしょになった小学校外国語活動の取り組み

セ 9年間を見通した学力充実の取り組み

広野中学校区小中一貫教育校の推進に向けて

目指す児童像・生徒像（育てたい力）

自ら学び
考える力

豊かな人間関
係を築ける力

健やかな体で
粘り強くやり
抜く力

自分の生き方
を求めていく
力

- ◇一貫教育校代表等の決定
- ◇一貫教育校の運営組織の整備

☆ 一貫教育校教育目標
『夢や希望を持って未来を切り
拓ける児童生徒の育成』

- ◇一貫教育校の名称公募
- ◇シンボルマークの策定

☆大久保小学校の教育目標

自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に主体的に判断・対応し、心豊かにたくましく生きる児童の育成

- ◇生涯学習の基盤となる基礎学力の充実・向上と、個性の伸長に努める。
- ◇基本的な生活習慣の確立と、望ましい人間関係や集団活動を通して、社会的資質や能力の育成に努める。
- ◇生命尊重と基本的人権を基盤に、やさしさや思いやりの態度等、豊かな心の育成に努める。

☆広野中学校の教育目標

- ◇ 確かな学力（知）
- ◇ 豊かな心（徳）
- ◇ 強い体（体）

☆大開小学校の教育目標

「知・徳・体の調和のとれた発達を図る。勤労と責任を重んじ、基本的人権を尊重し、国際感覚を身に付けた児童を育成する。基礎基本を確実な定着を図り、生涯にわたる学習の基盤を培う。」

教師力の向上

「確かな学力」→義務教育全体の中で学習内容や指導方法の在り方を見直す←「豊かな人間性」

学習活動や交流活動の推進と充実

研究主題「自分の気持ちや考えを伝え合うことができる児童生徒の育成」

—小中の円滑な接続と一貫した指導を通して—

小学校外国語活動

学校運営

- 5、6年生で教科担任制の授業
- 小学校教員、中学校教員による交換授業
- 小学校外国語活動でのTT授業者
- 校務分掌担当者など

教育課程

- 小中一貫カリキュラムの作成
- 一貫教育校全体で小中合同行事の取組
- 児童生徒のいろいろな交流を年間計画に位置付け
- 小中合同研修会
- 地域とつながった取組など

いしずえ

- 発達段階に合った学習システムの構築（前期：基礎基本を確り定し習熟を図る 中期：生かして思考力・判断力・表現力をつける 後期：応用して個性能力を伸ばす）
- 小中合同の家庭学習の手引き作成
- 指導方法の工夫改善など

宇治学

- 9年間を見通した総合的な学習カリキュラムの作成
- 小中各学年15hの宇治学の学習など

児童生徒理解

- 発達段階に合った生活の決まりやに連
- 特別支援教育の防止に向けた小中の連携など

地域との連携